

# 2026年度（第2次）神戸市外国語大学大学院 入学試験

## 日本アジア言語文化専攻（アジア言語文化領域）

### 解答例・出題意図

#### 設問 1

##### [出題意図]

言語研究を行う上で基礎となる言語学の専門用語の理解が正しく行えているか、具体例を出して、簡潔に説明できるかを把握する目的で出題した。専門用語に関しては言語学の一般的な教科書に載っている重要な用語を中心に、定義をしっかりと踏まえ理解するように準備すれば、問題なく記述できるはずである。このほか、言語学の用語辞典なども参照し、具体例の説明ができるようにすると良い。

各用語について 250 字から 300 字程度の記述があることが望ましい。日常から言語学の基礎的な専門用語について日本語でアウトプットする訓練を行なっているかどうかを本問では確認している。

なお、解答例は受験生の論述の自由度を大きく制限する可能性があるため、省略する。

#### 設問 2

##### [出題意図]

志願者が修士課程入学後に進める研究計画が着実に実行できるかを測る問題として出題している。志願者が提出しているテーマに沿って、その研究の背景や基礎知識、先行研究の理解が正しく行えているか、具体例などを提示して説明できるか、などを問うものである。

志願者が日常から先行研究を丹念に渉猟し、専門用語やテーマを理解し、日本語でアウトプットする訓練を行なっているかについて把握するために出題した。

解答例は受験生の論述の自由度を大きく制限する可能性があるため、省略する。